

[インタビュー] 日本に「ろうそく集会」伝える日本人
ハンギョレ新聞登録:2018-05-03 08:39 修正:2018-05-03
09:17

作家の村山俊夫氏インタビュー ろうそく革命134日を記録した『広場の声』韓日両国で出版 「韓国のデモ文化、日本にも影響」



『広場の声』を出版した村山俊夫氏(65)が2日午前、ソウル孔徳洞のハンギョレ新聞社でインタビューを受け自分の本を手にとって見せている＝パク・ジョンシク記者//ハンギョレ新聞社

1987年7月9日、延世大学で行われた李韓烈(イ・ハンニョル)烈士の告別式に集まった多くの群衆の中に、34歳の日本人の若者がいた。告別式で烈士26人の名前を呼ぶ文益煥(ムン・イクファン)牧師の演説と、100万の群衆と一緒に歩いてソウル市庁前まで行進したあの日の熱気を彼は昨年冬、光化門(クァンファムン)広場のろうそく集会で再び感じた。もうその熱を忘れてしまったような日本の市民たちに再び思い起こさせるため、日本人の村山俊夫(65)はろうそく集会を記録し始めた。

彼が最近、高木望というペンネームで『広場の声—日本人の目で見たらろうそく革命134日の記録』という本を出版した。1972年度に大学に入学した彼は、全共闘など1968年以降の日本の学生運動に影響を受け、大学を中退して豚の皮の加工工場に就職して7年間勤めた。彼はニム・ウェールズの『アリランの歌』に出てくる、革命家キム・サンに魅了されて1986年に韓国に来て、高麗大学と延世大学語学堂で1年間韓国語を学んだ。その後、京都に住みながら韓国人を対象に観光ガイドと通訳の仕事をしなが、俳優アン・ソンギを扱った『青春じゃなくてもいい』(日本題:『アン・ソンギー—韓国「国民俳優」の肖像』、2011)、日本から韓国にラーメンが渡来した過程を描いた『インスタントラーメンが海を渡った日』(2015)という本も出した。「次の本は韓国で生活をしながら書きたい」と考え、2016年7月に妻と一緒に韓国に入り、現在は日本語講師として働い

ている。

塾の周辺の鍾路2街の考試院で暮らす彼は、近くの光化門一帯で開かれたろうそく集会に、2016年10月29日に始まった第1回から計12回参加した。本は、国内のマスコミ各社の記者が書いた記事に劣らないろうそく集会のレポートとろうそく集会に参加した人たちのインタビューが盛り込まれた。2日、ハンギョレ新聞社で会った彼は「延べ1700万人が参加して平和的にデモを行い政権を交代させたらろうそく集会は、日本だけでなく世界に伝える価値があるという思いで本を書くことにした」と話した。この本は昨年8月、日本で『韓国で起きたこと、日本で起きるかもしれないこと:日本人が目撃した韓国市民革命』というタイトルで先に出版された。村山氏は笑いながら『安倍政権を崩す方法を教えます』というタイトルを書こうかとも考えたけれど、あまりにも露骨なので自制した」と話した。

最近では韓国のデモ文化が日本に影響を与える流れがあらわれている。「日本で韓国のろうそく集会にならって私たちが夜にろうそくを持ってやってみようと言ったのが昨年からだ。もともと日本は週末の昼にデモをするのが一般的で、夜は集まっていなかった」。先月19日、日本の国会議事堂前で3万人(主催側推算)ほどが集まった安倍退陣要求の集会で、ユン・ミンソク氏が作ったセウォル号の追悼曲「真実は沈没しない」を日本語で歌う映像が国内で話題になったりもした。「最近ではラップを歌うこともあったが、もともとデモで歌を一緒に歌うのは日本ではない文化だ。87年6月抗争当時も、デモで民衆歌謡をたくさん歌うのが不思議に感じられて、歌の歌詞を書いた寄稿を日本のマスコミに送ったりもした」

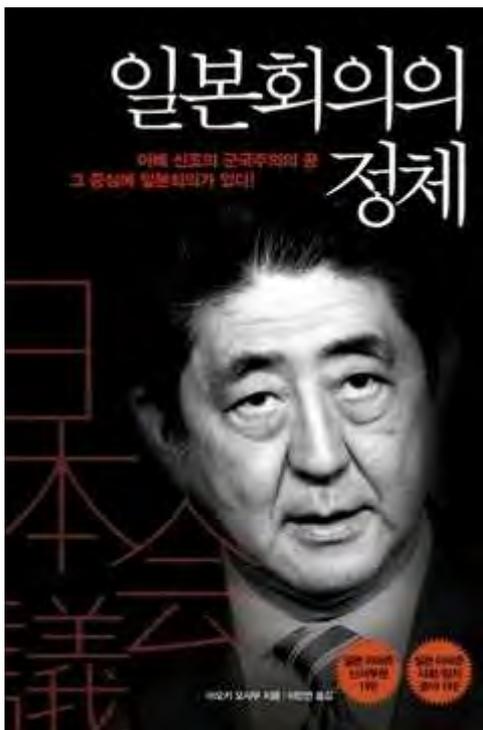
彼は公文書改ざん、自衛隊文書隠蔽、首相の友人への特別待遇疑惑など「到底許せないことをした」安倍政権は退陣しなければならないと考えるが、デモの規模が小さいことへの残念さを吐露した。「長期間執権した自民党をはじめ保守勢力がマスコミ掌握などを通じ、巧妙なシステムを築いてきた。2009年から3年間民主党が政権を握ったが、福島原発事故に十分に対処できないなど、国政運営がうまくできず国民に失望を与えた。韓国では進歩的な共に民主党が政権を維持できるだけの支持基盤があり、政権を担う能力があるが、日本では自民党に代わる勢力が弱い」

南北首脳会談など南北の和解の局面で疎外を自ら招いた政権が、現在の状況認識にも問題点を露呈していると批判した。彼は「安倍政権は、冬頃まで朝鮮半島の戦争危機を最大限に利用して選挙で勝ち、軍備を拡充することだけに関心があったが、突然平和の局面に突入するとは考えられなかった」と話した。さらに「保守勢力はこれまで北朝鮮に対する警戒心を刺激して政権を維持してきており、今回も核問題の解決なしに平和協定は時期尚早だという形で出ている。政府に批判的な朝日新聞も全面的に統一と和解を支持する論調ではない」と、日本の世論を伝えた。

だが、彼は今後、韓国と日本の市民の交流が希望ある結果を生むだろうと見通した。「韓国では東学農民運動から伝わる民衆抗争の歴史があり、今回のろうそく集会もそのような歴史を受け継いだ。一方、日本は1960～70年代闘争の経験を受け継ぐ努力が足りなかった。だが、これから日本と韓国の市民が抵抗の経験を共有して助けあうなら、固定化された日本の政治状況も変えることができるはずだ」キム・ジフン記者（お問い合わせ japan@hani.co.kr）

「右翼指令塔」日本会議、憲法記念日の前に公開した映像の正体は？

中央日報日本語版 2018年05月02日 15時51分



日本会議の正体を扱った書籍『日本会議の正体』（中央フォト）

「日本右翼の大本営」と呼ばれる日本会議が念願事業の平和憲法改正に向けて手綱を引き始めた。日本の「憲法記念日」5月3日を控えてだ。各種スキャンダルで安倍内閣がふらつき、日本会議も安心できなかったが、憲法記念日を控えて改憲ムードに火をつけようという動きに入った。

日本会議は先月30日と今月1日、ホームページを通じて昨年11月27日に開催された「日本会議・日本会議国会議員懇談会設立20周年記念大会」の映像を公開した。事実上の「改憲出征式」として進行された記念大会の映像を編集して公開し、憲法記念日を控えて改憲に対する意志を内外に改めて明らかにしたのだ。

「日本右翼の指令塔」「右翼大本営」と呼ばれる日本会議は全国47都道府県に本部を、なんと3000を超える基

礎自治体に支部を置いた右翼の点組織だ。「日本会議国会議員懇談会」に所属する200人以上の国会議員は日本会議の右翼的な視点と政策を政界に広めている。安倍晋三首相の強力な支持基盤でもある。

昨年11月に約2000人が集まった中、東京都内のホテルで開催された20周年記念大会は一言で表現すると「右翼の祭り」だった。16分ほどに編集された映像によると、行事の序盤には日本会議の過去20年を振り返るDVDが上映された。

「歴代首相の靖国神社参拝が定着するよう要求する活動を続け…（終戦60年の）2005年には大々的な参拝運動を行い、過去最高の20万5000人の参拝者があふれた。終戦70年（2015年）には若い世代に靖国の心を引き継ぐ行事をした。民主党政権下で成立されようとしていた夫婦別姓法案、外国人地方参政法案を撤回に追い込んだ…国民運動を通じて2004年には59年ぶりに教育基本法改正を実現し、2013年には本格的な憲法改正運動に着手して今まで受け継がれている。いま新しいステージが開かれた。衆参両院で改憲に賛成する議員が3分の2を超えた。国会発議から国民投票の実現に向け、全国で運動が推進されている。青年の声、女性の声、国民の声を集めて改憲運動を前進させていこう」。

続いて出席者のあいさつの言葉が続いた。

田中恒清日本会議副会長＝「憲法改正の新たなステージに向かう出発点に立った」。

田久保忠衛日本会議共同会長＝「（改憲賛成国会議員）3分の2は天からの示唆だ」。

古屋圭司日本会議国会議員懇談会会長＝「（憲法改正に対する責任感などで）身震いがする」。

下村博文自民党議員＝「国を一步進めて日本らしい憲法をつくらう」。

続いて右派論客の桜井よしこ氏が「私たちには経済力もあり、軍事力もあり、情報力もあるが、現実を見る目が無い。国際社会の情勢は私たちを待ってくれない」と述べて改憲を主張すると、場内には拍手が続いた。

動画の公開で雰囲気盛り上げた日本会議は憲法記念日の3日には大規模な改憲フォーラムを開催する予定だ。日本会議が2014年に発足させた「美しい日本の憲法をつくる国民の会」などが主導するフォーラムだ。昨年、安倍首相はこのフォーラムに送る映像メッセージで「憲法9条に自衛隊を明記する」という立場を初めて表明した。現在、中東を訪問中の安倍首相も憲法記念日の3日には帰国する予定だ。

安倍首相は1日夜、ヨルダンの首都アンマンで行った記者会見で「平和主義の基本理念は変わることはないが、（自衛隊の）違憲論争に終止符を打つことは今を生きる私たちの責務だ」と述べ、改憲への強い意志を見せた。政権を揺るがすスキャンダルの中でも安倍首相が改憲への意欲を改

めて表したということだが、日本国内では「改憲に対する執着が安倍首相を自滅に追い込む」という見方も出ている。

朝日新聞が毎年1回調査して発表する郵便方式を通じた憲法関連の全国世論調査（2日報道）によると、安倍政権のもとで憲法改正を実現することに「反対」という回答は58%、「賛成」は30%だった。昨年と比べて「反対」が8%増え、賛成は8%減った。憲法9条に自衛隊を明記する改憲案についても「反対」が53%、「賛成」は39%だった。

国会前の車道まで埋めた3万の人波「安倍、退陣せよ」

ハンギョレ新聞登録:2018-04-15 23:03 修正:2018-04-16 07:21

2015年安保法制反対闘争以来最大
夜には500人以上がキャンドルデモも



14日、東京千代田区の国会議事堂前で、安倍晋三首相の退陣を要求するデモが行われている。市民が「安倍は辞めろ」、「安倍終わった」と書かれたプラカードを持っている＝東京/EPA 聯合ニュース

「辞めろ！辞めろ！」

14日、東京千代田区の国会議事堂前で市民3万人余り（主催側推算）が集まり、安倍晋三内閣退陣を叫んだ。先月初め、公文書改ざんスキャンダルに火が点いて以来最大の人波が集まっただけでなく、2015年の安保法制反対闘争以来最大規模のデモだ。

人波は国会前の歩道だけでなく車道まで埋め、日本ではあまり見られない風景を演出した。先月19日、数千名が集まった衆議院会館前集会の時でも、市民が歩道を埋めてデモをしたが、車道まで占めることはなかった。「未来のための公共」など3つの市民団体が連合して開いた「国会前大行動」で市民たちは「安倍辞めろ」、「安倍内閣総辞職」と書かれた横断幕を持ち声を高めた。共産党機関紙「赤旗」は、集会に5万人が集まったとし、地方から上京してきた旅行カバンを持ってきた人、ベビーカーを押して出てきた母親もいたと伝えた。13日には広島で、14日には名古屋でも安倍政権の退陣を要求するデモが行われた。

安倍内閣は最近、公文書改ざん、自衛隊文書隠蔽疑惑、首相の友人に対する特典疑惑が相次いで、危機を迎えてい

る。まず先月初めに大阪の私学法人である森友学園に対する国有地安値売却論議と関連して、財務省が内部文書14件について300カ所以上を改ざんしていた事実があらわれた。続いて、陸上自衛隊が昨年ないと言っていたイラク派遣部隊の日報文書が実際には残っていることが把握され、自衛隊がこれを隠そうとした状況もあらわれた。また、安倍首相と長年の友人である加計孝太郎氏が理事長を務める加計学園が獣医学部新設の許可を受けたことと関連して、2015年当時首相秘書官が獣医学部の新設は「首相案件」だと発言したことを記録した文書が出てきた。

今回のデモを主催した団体の一つである「総がかり実行委員会」の共同代表である福山真劫氏は「安倍とその友人たちは（執権後）5年5カ月にわたり憲法を破壊し戦争できる国に向かって暴走した。そして国家権力を私物化した。公文書改ざん、日報隠蔽など、嘘が露見している」として「これ以上（安倍内閣を）延命させてはならない」と話した。安保法制反対運動をしてきた佐藤学・東京大学名誉教授は「日本の政治、国会、官僚組織がここまで腐敗した姿は見ることがない」と話した。

この日夜には、国会正門前で数百人が政権退陣を要求するキャンドルデモを行った。憲法改定に反対する「9条の会」発起人の1人であるノンフィクション作家、澤地久枝氏が主導して500人以上が集まったと毎日新聞が伝えた。朴槿恵（パク・クネ）前大統領の弾劾を引き出した韓国のろうそくデモを参考にしたデモで、最近首相の退陣を要求する日本の市民集会では韓国の事例に言及することが多い。参加者たちは雨の中でも一方の手にはろうそくの形をした蛍光灯を持ち、他方の手には「安倍政治を許さない」と書いたプラカードを持った。この文字は、今年2月に亡くなった俳人の金子兜太氏の揮毫を使ったもので、金子氏は生前に平和運動に努めた人物だ。ろうそくデモを主導した澤地氏は87歳で、1945年満州で日本の敗戦を迎えた人だ。日本軍が敗戦後、民間人を捨てて逃げる様子を目撃した経験を本に書いた。



14日、東京千代田区の国会前で、市民が安倍晋三政権の退陣を要求するデモをしている。安倍首相の顔に「嘘つき」と書いたプラカードが見える＝東京/EPA 聯合ニュース

安倍首相の政治師匠格である小泉純一郎元首相までが、安倍首相を見捨てる発言をした。小泉元首相は14日、茨城県水戸市で講演した後、記者たちに安倍首相が9月の党

総裁選挙で3選することは「難しくなった」と話した。森友学園および加計学園スキャンダルのために、首相に対する「信頼が失われた」と話した。安倍首相が森友学園論議に自身は関係ないと主張することに対しても「夫人が(森友学園が設立する予定だった小学校の)名誉校長をしたのに、どうして関係ないのか」と話した。小泉政権時代に安倍首相は官房副長官と官房長官に抜擢され急成長した。

東京/チョ・ギウォン特派員 (お問い合わせ japan@hani.co.kr)

<http://www.hani.co.kr/arti/international/japan/840642.html> 韓国語原文入力:2018-04-15 19:42

訳 J.S

[コラム] “ろうそくデモ” の前に立たされた安倍首相

ハンギョレ新聞登録:2018-03-29 23:04 修正:2018-03-30 07:32



18日午後、東京新宿区JR新宿駅西口前に集まった市民たちが「安倍政治を許せない」、「安倍内閣退陣！」などのスローガンが書かれたプラカードを持って安倍退陣要求デモをしている//ハンギョレ新聞社

日本の公文書改ざんスキャンダルに対する国会集中審議が開かれた19日。午後7時になると衆議院議員会館周辺の歩道を市民が埋め尽くした。人数は正確に分からないが、少なくとも1000人以上と見える人波が安倍晋三政権の公文書改ざんスキャンダルに抗議するために集まった。

森友学園が小学校を設立するとし、国有地を政府鑑定価格(9億5600万円)の14%に過ぎない1億3400万円で買入れた場所である大阪府豊中市の木村真市議員が「安倍首相は直ちに退陣せよ」と声を高めると、市民は「そうだ」、「そのとおり」と呼応した。

木村市議員は、2015年に安倍政権が集団的自衛権行使のために強行処理した安保法制の制定・改定の話から切り出し「安保法制通過の時も、憲法学者が(安保法制は)全部違憲と言ったが、安倍首相は『私が大丈夫だと言えば大丈夫だ』という論理だった」と声を高めた。

木村市議員の発言から、一時は“安倍一強”と言われる程に堅固に見えた安倍政権が危機を迎えた理由は、公文書改ざんスキャンダルのためだけではないということがうかがい知れる。朝日新聞が2日、財務省が森友学園に国有地を安値売却したという疑惑と関連した内部公文書14件について300カ所以上を改ざんしたと報道し、安倍政権の危機が表面化した。以前から積み重ねられていた安倍政権に対する不満が公文書改ざんを契機に噴出したという事実を知ることができる。

最近相次いでいる公文書改ざん抗議デモでは、朴槿恵(パク・クネ)政府を押し倒した韓国のろうそくデモに言及する発言もしばしば聞かれる。19日のデモでも「韓国ではろうそくデモで不正腐敗にまみれた政権が崩れた」、「隣国韓国では前大統領が腐敗疑惑で監獄に行った。安倍首相も監獄に送らなければ」という発言を聞くことができた。日本の市民団体関係者たちは、以前から韓国のろうそくデモに大きな関心を寄せていた。シンポジウムなどで市民団体関係者たちに会い、韓国の新聞社所属だと紹介すれば、ろうそくデモの話がしばしば出てきた。日本で1960年代に安倍首相の母方の祖父である岸信介が推進した日米安保条約改定に反対するデモ隊30万人が殺到したことがあるが、80年代以後の日本では大規模デモはまれであることに加え、ろうそくデモが政権退陣まで引き出したためだ。だが、日本の政府を批判するデモでも韓国のろうそくデモの話が出てくるようになったのは最近のことだ。

安倍首相は、公文書改ざんスキャンダルで退陣するつもりはないように見える。野党である自由党の山本太郎議員が28日、参議院予算委員会で「首相はいつ辞めるのですか?」と尋ねると、安倍首相は「(昨年10月の衆議院)選挙で信任を得た。約束したことを推進するのが私の責任だ」として、辞任する意思はないと明らかにした。自民党の派閥である「額賀派」の次期会長に内定した竹下亘議員は「率直に言って(安倍首相の夫人である)昭恵夫人の存在が政権に迷惑をかけたことは事実だ。だが(森友学園スキャンダル)疑惑に関与していたことと迷惑をかけたことは全く違う」と話した。安倍首相の夫人である昭恵夫人を批判しているように見えるが、安倍首相本人と政権次元の問題とに一線を画そうとする発言だ。



チョ・ギウォン東京特派員//ハンギョレ新聞社

安倍首相が公文書改ざんスキャンダルから抜け出せず失

脚するのか、あるいは突破口を見つけて長期政権を継続するのか、予断は難しい。しかし、少なくとも安倍政権が国会前と新宿駅に集まって政権の傲慢さを鋭く批判する市民を意識しないわけにはいかないだろう。結局、政治を変えることができるのは市民の力だけではないか。

チョ・ギウォン 東京特派員（お問い合わせ japan@hani.co.kr）

<http://www.hani.co.kr/arti/opinion/column/838292.html>

韓国語原文入力:2018-03-29 19:07

訳 J.S

墜落する安倍政権が改憲案を打ち上げ

ハンギョレ新聞登録:2018-03-25 22:55 修正:2018-03-26 08:39

発表延期の予想裏切り 自民党草案発表を強行 「自衛隊保有」条項新設「戦力保持の禁止」は死文化 公文書改ざん スキャンダルで年内国会発議は不透明



安倍晋三首相が 25 日、東京で開かれた自民党党大会で演説している＝東京/AFP 聯合ニュース

日本の執権与党である自民党が、戦後体制の根幹を揺るがす平和憲法改定作業を本格的に始めた。

自民党は 25 日、東京で開かれた党大会で、憲法に自衛隊の存在明示規定を追加する内容を骨格とする自民党次元の憲法改定草案を公式発表した。私学法人森友学園特異疑惑スキャンダルで、安倍晋三政権が窮地に追い込まれた状況であるため改憲案草案の提示が延期されるという予想があったが、予想を裏切り自民党は憲法改定草案の発表を強行した。

自民党は、戦力保持の禁止を規定した現行憲法 9 条 2 項をそのまま据え置く代わりに、“9 条の 2”を新設しようと提案した。“9 条の 2”には「前条(9 条 1 項と 2 項)の規定は、我が国の必要な自衛の措置を取ることを妨げず、そのための実力組織として法律の定めることにより内閣の首長である首相を最高指導者とする自衛隊を保有する」という案を提示した。自民党憲法改正推進本部は、当初は自衛隊が「必要最小限の実力組織」という一節を入れ、自衛隊が軍隊の戦力ではないことを明確にしようとした。だが、この表現が自衛隊の活動を制約しかねないという党内世論にしたがって削除した。自民党の憲法改正案どおりに改定が

進めば、戦力保持を禁止した 9 条 2 項が死文化される恐れがある。自民党はこの他に、大規模災害発生時の国会議員任期延長▽参議院選挙区調整▽教育の重要性を国家理念として位置づける内容も憲法改定案として提示した。

安倍首相はこの日、党大会で「いよいよ結党以来の課題であった憲法改正に取り組む時が来た。憲法に自衛隊を明記して、自衛隊が違憲という論争に終止符を打つことが自民党の責務だ」として、憲法改定に強い意欲を見せた。

自民党の二階俊博幹事長も党務報告をして「衆参両院の憲法審査会で議論を深め、憲法改正原案を作り(国会発議を)目指す」と述べた。

安倍政権の憲法改定作業は、昨年 5 月 3 日の憲法記念日に開いた改憲派集会に安倍首相が映像メッセージを送り、「自衛隊を明記する形で憲法を改正したい」と話して本格的に始動した。自民党は 2012 年にも「首相を最高指揮官とする国防軍を保有する」という内容の改定案を発表したが、日本国内でも国粹主義的という批判に直面した。自民党は 2012 年に比べて弱まった改憲案を提示し、国民の警戒感を払拭しようとしているが、改憲が実現すれば日本の現行平和憲法の根幹が揺らぐことになる。戦力保持を禁止する 9 条 2 項が死文化され、攻撃型兵器の保有禁止、国外武力行使禁止の手綱が解かれかねない。東京新聞は、日本の右翼団体である日本会議の関係者らが安倍首相の主張した憲法改定案と似た内容を昨年以前から主張していたとし、彼らが自衛隊明示規定を追加する改憲で「憲法 9 条 2 項を死文化させなければならない」と主張したと伝えた。

安倍政権は 2014 年の憲法解釈変更と 2015 年の安保法制改定で現行憲法の規定を事実上無力化してきたが、憲法改定では平和憲法の根幹が崩れる恐れがある。また自民党は、国民の拒否感が少ない部分から憲法を改定し、その後には平和憲法の内容自体を根本的に変える 2 段階改定をする意図が伺える。自民党憲法改正本部の船田元議員は、2 月に国会で開かれた集会に送った映像メッセージで「9 条 2 項を削除すれば、自衛隊の役割と機能が無限に拡大するという憂慮を国民に与えかねない。9 条 2 項を残す形で自衛隊を明記することが、国民の理解を得やすい」として「もう一つのアイディアは、最初の憲法改正が今後あるであろう何度もの(改正)の前提だ」という考えだ。国民が私たちの憲法改正作業に慣れれば、将来は 9 条 2 項を削除する」と話した。

自民党はこの日、改憲推進と関連して「政党の枠を越えて、先頭に立って国民との議論を深めて行く」という内容の今年の行動方針も決めた。「領土と歴史認識に関し戦略的対外発言を一層強化する」という内容も行動方針に入った。

しかし、安倍政権が森友学園スキャンダルと関連して公文書まで改ざんしたとの波紋が広がり、支持率が 31%(朝日新聞調査)まで落ちた状態であり、自民党が年内に国会に予定通り改憲案を発議できるかは不透明だ。

安倍首相は、自民党大会でも憲法改正の話に先立って、公文書改ざんスキャンダルから謝った。「行政に対する信頼を揺るがす事態になった。責任を痛感する。最終的責任は私にある。あらためて国民に深く謝罪申し上げる」として頭を下げた。

しかし憲法改定賛成派と反対派を問わず、安倍政権の改憲作業強行に対しては懐疑的見解と批判が依然根強い。小泉純一郎元首相の息子であり国民に人気が高い小泉進次郎議員は、党大会の後に公文書改ざんスキャンダルについて「政治史に残る大事件だ」として「(憲法)改正には賛成するが、野党支持者そして支持政党のない人も含めて賛成するという気運が高まらなければ、国民投票(通過は)容易でない」と話した。改憲に友好的な日本維新の会の松井一郎代表は16日「今は熟考できる雰囲気ではない」と話した。民進党の小川敏夫議員は25日、NHKの討論プログラムで「ここまできて憲法(改正作業議論)は森友学園スキャンダル隠しのために話題を変えようとしているとしか考えられない」と話した。立憲民主党の枝野幸男代表は「公文書を改ざんした政権を信用することはできない。憲法(改定)議論ができる前提を壊したのは安倍首相本人だ」と述べた。

公文書改ざん疑惑も絶えず出てきている。毎日新聞は森友学園国有地安値売却疑惑に関連した公文書の改ざんを、財務省本庁が国有地売却を担当した地方部署にEメールで指示したと報道した。国有地売却疑惑を捜査している大阪地検特捜部がこのようなメールの内容を入手したと伝えた。

東京/チョ・ギウオン特派員（お問い合わせ japan@hani.co.kr）

<http://www.hani.co.kr/arti/international/japan/837592.html> 韓国語原文入力:2018-03-25 20:54

訳 J.S